

3月8日は「サバの日」!

沼津港水揚げ NO.1 は「サバ」!!

サバ川柳

大募集!

サ・バ
3月8日は語呂合わせで3・8の日。

この日に併せて「サバ川柳」を募集します!

コロナ禍で「おうち時間」が増える中、子どもから大人まで参加できる
「サバ川柳」コンクール。沼津港水揚げNO.1にちなみ、

「サバあるある」を五・七・五のリズムにのせて詠んでください!

サバ好きも
サバ嫌いも

抽選で

サバ
38名の方に
サバ
3800円相当の
サバ詰め合わせセットが当たる!



入賞者には

サバトロフィー (最優秀賞) や
豪華サバ詰め合わせセット
をプレゼント!



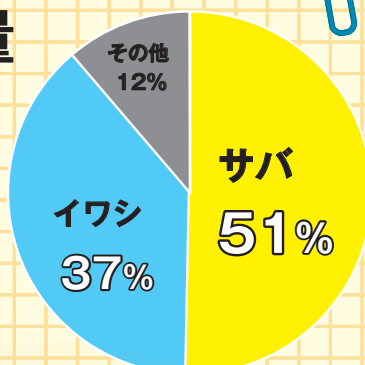
※サバトロフィーのイメージ

沼津港水揚げ量

(令和元年度)

沼津港には大群で回遊するサバなどを一度に大量に獲ることができる巻き網船が多く入港します。駿河湾内では特にゴマサバやマサバが多く獲れることから、サバは沼津港の約5割の水揚げ量を誇っています。

これらサバの多くは加工され、サバ節の原材料となっています。沼津市は雑節の加工業が盛んで、中でもサバ節は全国でも有数の生産量となっています。



【マサバ】

背部に黒色の波状紋がある



【ゴマサバ】

体側と腹側に小黒点がある

サバトリビア

サバを読む

歳をごまかす際の「サバを読む」という言葉は、サバが大量に獲れ、かつ鮮度低下が激しいため、漁師や魚屋が数をごまかしてもバレずに大急ぎで売りさばいたことが起源とする説があります。

語源は「狭歯」!?

江戸時代の「大和本草」という資料に「此魚牙小ナリ。故ニサハ(狭歯)ト云」とあり、「狭歯」→「サバ」となったといわれています。青々とした「サバ」を表すのに漢字では「鯖」が当てられています。